

ヒョウモンダコにご注意

猛毒を持つ大変危険なタコです！
見つけてもさわらないでください

近年、大分県を含む九州北部域等において、ヒョウモンダコが相次いで発見されています。本種や種類のわからないタコを見つけた時には、むやみにさわらないようにしてください。



通常の状態



興奮しヒョウ柄がでた状態

ヒョウモンダコとは

- 頭の大きさ3cm、体の大きさ10cmほどの小型のタコである。
- ・ 周囲の岩や海藻にカモフラージュしますが、刺激を受けると「青い輪や線の模様のある明るい黄色」に変化する（写真）。
 - ・ 日本からオーストラリアにかけての西太平洋熱帯域・亜熱帯域に分布し、浅い海の岩礁、サンゴ礁、砂と小石混じりの海底に主に生息する。
 - ・ ヒョウモンダコの唾液にはフグと同じ強力な神経毒のテトロドトキシンが含まれ、人間でも噛まれると大変危険でけいれん、呼吸困難などの症状を引き起こす（海外では死亡事例有り）。
 - ・ 死んでも毒は残りますので、決して食べないで下さい。

お問い合わせ先：大分県農林水産部
漁業管理課団体流通班
TEL：097-506-3915